

授業概要

中等教育の社会科・地歴科の内容、課題を理解し、教員としての基礎的教育能力を養い、資質を高めることを目的とする。現行カリキュラムまでの変遷を講義する。また、実践的な学習として、地域調査の手法を学び、情報機器等を用いた発表を行なう。また、社会科・地歴科教員としての基礎的能力を高めるための課題を適宜課す。

授業計画

第 1 回	ガイダンス：社会科・地歴科教育法を学ぶにあたり要点の概説
第 2 回	戦前の地歴教育①：社会科教育の変遷
第 3 回	戦前の地歴教育②：教育の基本的あり方と社会科
第 4 回	戦後の社会・地歴教育①：新国家の誕生と社会科教育のはじまり
第 5 回	戦後の社会・地歴教育②：学習指導要領の変遷（前半）と社会科教育の動向
第 6 回	戦後の社会・地歴教育③：学習指導要領の変遷（後半）と社会科・地歴科教育の動向
第 7 回	中等社会科カリキュラムの内容と構造
第 8 回	高校地歴科カリキュラムの内容と構造①：歴史
第 9 回	高校地歴科カリキュラムの内容と構造②：地理
第 10 回	地域調査研究①：地域研究の方法
第 11 回	地域調査研究②：地域研究の具体的事例
第 12 回	地域調査研究発表①：各受講生個別発表と全体での質疑応答 中学社会の内容から
第 13 回	地域調査研究発表②：各受講生個別発表と全体での質疑応答 高校地理の内容から
第 14 回	地域調査研究発表③：各受講生個別発表と全体での質疑応答 高校歴史の内容から
第 15 回	社会科・地歴科の教育指導方法
第 16 回	定期試験

到達目標

現在の社会・地歴科の成り立ち、現行カリキュラムの特質を知る。教員として相応しい知識、見識とは何かという自己課題を持つ。社会科的調査研究の方法の実践と報告ができるようになる。

履修上の注意

将来教職に就く意思を持ち、教員としての資質を高める意欲のあることを強く望む。抗議へは積極的に参加してもらいたい。また、地域調査研究発表は単位修得に必須のこととする。

予習・復習

前半は毎回小テストまたは課題レポートを課す。事前に示された範囲及び課題に対し十分な準備学習、調査考察を行うように。また、後半は地域を調査・報告する形式の講義を行う。各人が実際に地域をめぐる調査し、独自の視点から報告ができるように取り組むこと。

評価方法

試験(40%)、作業課題(30%)、研究発表(30%)とし総合的に評価する。

テキスト

文部科学省『高等学校学習指導要領解説 地理歴史編』 『高等学校学習指導要領』(平成 30 年告示版)
 文部科学省『中学校学習指導要領解説 社会編』 『中学校学習指導要領』